

第13回 まちづくり町民会議

2020/1/15 PM7:00

@中央公民館

《式次第》19:00~20:00 (60分)

- 1 会長あいさつ
- 2 本年度の振り返りと次年度のスケジュール
- 3 事業施策提案について協議の進め方
- 4 その他 15分
 - ①次回 2月26日(水曜日)午後7時 中央公民館
*本年度、最終です。当初は2月21日(金)を想定していましたが、担当不在の為変更。

配布資料

- ・式次第

資料1 本年度の振り返りと次年度のスケジュール

資料2 事業施策提案についての進め方

資料3 与論庁舎跡地利用アンケート抜粋

2019年度町民会議の目標

【目標】

まちづくり：住民目線での課題と、将来こんな知名町になってほしい提案

新庁舎建設：新庁舎の基本設計への意見をする

町民会議 2019 会議日程 (2019/5/16)

2019年4月19日開催第5回会議で説明したスケジュールに開催日をいれた資料となります。

開催日は、基本第3木曜日に設定しています。

- 4月 日付：平成31年4月19日（金） 場所：中央公民館ホール
・バックキャスト視点でのまちづくり検討&発表
- 5月 日付：令和元年5月16日（木） 場所：中央公民館ホール
・町長のまちづくり方針説明
・まちづくりにおける委員からの意見を集約した課題説明
・【まちづくり】事業施策提案書作成説明
- 6月 日付：令和元年6月13日（木） 場所：中央公民館ホール
・【まちづくり】事業施策提案を各班で作成。
・【新庁舎建設】構造、階層、駐車場、課配置の事務局説明
- 7月 日付：令和元年7月18日（木） *場所：商工会2階会議室*会場注意
・【まちづくり】事業施策提案をとりまとめ、町担当課へ質問する準備
・【新庁舎建設】構造、階層、駐車場、課配置の事務局説明・財源説明
- 8月 日付：令和元年8月22日（木） 場所：中央公民館ホール
・【まちづくり】町から回答のあった事業施設提案について協議
・【新庁舎建設】構造、階層、駐車場、課配置の事務局説明・財源説明
- 9月 日付：令和元年9月19日（木） 場所：中央公民館ホール
・【まちづくり】町から回答のあった事業施設提案について深堀を進める
- 10月 お休み（住民説明会実施のため）
- 11月 日付：令和元年11月14日（木） 場所：中央公民館ホール
・【まちづくり】住民説明会での意見を「事業施策提案」にフィードバック
・事業施策提案を「町長へ提案する」
- 12月 日付：令和元年12月16日（月） 場所：中央公民館ホール
・【まちづくり】現庁舎の跡地の活用方法を検討
・【新庁舎建設】新庁舎基本設計入札の概要説明
- 翌年1月 日付：令和2年1月15日（水） 場所：中央公民館ホール
・【新庁舎建設】現庁舎の跡地の活用方法を検討
・【まちづくり】事業施策提案後の町アクションについて
- 翌年2月 変更有：日付：令和2年2月26日（水） 場所：中央公民館ホール
・本年度の振り返りと次年度のスケジュール

2 本年度の振り返りと次年度のスケジュール

○本年度

4月18日 研修「2040年の未来の子供たちに しっかりと島の素敵を手渡したい！」

5月16日 町長のまちづくり方針説明
事業施策提案書について（従来型・未来型）

6月13日 庁舎建設基本計画 必要事項協議
（構造）
知名町事業評価シート配布（町が実施している事業リスト）

7月18日 庁舎建設基本計画 必要事項協議
（階数、構造体、防災防犯等）
公共施設一覧リスト配布

8月22日 庁舎建設基本計画 必要事項協議
（床面積、敷地面積、建物の配置）継続協議

9月19日 庁舎建設基本計画 必要事項協議
（住民サービス、財源、発注方法等）

11月14日 庁舎建設基本計画 必要事項協議
（床面積、敷地面積、建物の配置、備品購入、会議室等）
住民説明会における新庁舎関係質疑

12月16日 答申書(案)協議
現庁舎跡地利用検討
町長へ答申



○次年度のスケジュール

- 内容

令和2年度は、町民会議の趣旨である「住民目線での課題と、将来こんな知名町になってほしい提案」に重点を置く話し合いを実施します。

また、新庁舎基本設計・実施設計内容についてご意見を頂きます。

*補足 基本設計については、プロポーザル方式で1次書類選考、2次プレゼンテーション（一般公開）で実施する予定です。

- 回数

2か月に1回程度

- 進め方

これまでの町民会議は、事務局説明⇒質疑応答（事務局と委員）

これからの町民会議は、事務局説明⇒協議（事務局と委員、委員同士）
関係者の招へい。

- 大まかなスケジュール

事業施策提案書の協議 取りまとめて10月に答申

新庁舎基本設計への意見（5月頃）

新庁舎実施設計への意見（11月頃）

次世代とのまちづくり意見交換会（予定）

対話型自治体経営シミュレーションゲームSIMの実施（予定）

*基本計画は、プロポーザル事業者が基本計画をもとに提案を行い、どのようなことができるかというものを具体的に示す。（仮の設計図も提案）

*実施設計は、基本設計をもとに、詳細な調査や関係機関との協議、必要な手続き等をふまえ新庁舎の設計図を作成。

3 事業施策提案について協議の進め方

① 事業施策提案書 説明



② 協議（全提案）＊追加提案を含む

協議は、委員同士を基本

関係者の出席を依頼します。



③ 事業施策提案書 従来型 1つ・未来型 1つに絞り協議を深める。



④ 10月までに意見を取りまとめ、答申。

今回は、1つ案件を提示し、皆さんと協議をします

事業施策提案書

未来型 「将来こんな知名町に住みたい」や、「子や孫に誇れる知名町になるためには」

事業名	生ごみ等の再資源化への取り組み				
提案者・提案団体名	[Redacted]				
町民会議にて「まちづくり」意見 フォアキャストとバックキャストをまとめて見えた課題部分該当箇所					
	ブランド化		ゴミ		住宅
	労働力・担い手		健康対策		雇用
					結

1 「将来こんな知名町に住みたい」や、「子や孫に誇れる知名町になるためには」のイメージ

家庭や事業所から出される生ごみを分別・回収し、生ごみの焼却量の減量とリサイクルした生ごみで堆肥を作り地域に無償還元または、知名町ブランド*堆肥として販売する。

(鹿児島県日置市が2015年から、ゴミステーションに生ごみ回収容器を設置し開始) ✓

次の段階では、紙屑等の可燃物もリサイクル物品として回収し、廃品業者へ販売する。

更に、将来的には、使用済み紙おむつの再資源化にも取り組む。(ユニチャームが技術開発済みで、志布志市、大崎町と協定を結び実証試験中で、2020年の本格事業化を目指している。) ✓

環境に優しい再資源化に積極的に取り組み、「リサイクル先進の町」を実現することが、「子や孫つまり未来に誇れる故郷」づくりであると考えてる。

2 そのためには何をするか

- ① 個人がすること
 - 積極的な協力と地域（集落内）の環境づくり
- ② 団体ですること
 - 各種団体毎（町単位）及び知名町コミュニティ推進会議の理解と協力
- ③ 行政がすること
 - ア 和泊町との協議
 - イ 住民説明会
 - ウ 取り組み方法の検討（モニター方式、地域限定実施等）
 - エ 実証試験

3 その他

■確認事項

- ①単なる要望になっていないか。
- ②現実性を加味しているか。
- ③見えてきた課題となっているか
- ④宗教・政治又は選挙活動を目的とはしていないか。

参考資料

1 単独事業

①ごみパト（ゴミの出し方、不法投棄監視）

委託先：地域女性団体連絡協議会 600千円 週2回以上パトロール

②食品リサイクルセンター（事業所生ごみの液肥化）

区分	H28	H29	H30
コスト(千円)	7,318	7,359	6888
回収協力事業者	31	29	30
回収量(kg)	114,944	156,991	147,970
液肥販売量(ℓ)	127,700	146,000	147,500

2 沖永良部衛生管理組合負担金

区分	H28	H29	H30
負担金	1億4,500千円	1億2千万円	1億1千万円
うち清掃費負担記	1億1,800千円	8千8百万円	7千8百万円

但し、最終処分に係わる費用は和泊町 59,843 円（標準 30,130 円）

知名町 74,653 円（標準 30,130 円）となっており、本町の方が最終処分になるゴミが多い。

ペットボトルの処分費用はリサイクル料と相殺されるのでコストなし。

3 塵芥業務（収集運搬業務委託料）

250千円/月×2事業者×1年=6,000千円 4t×2台

区分(t)	H28	H29	H30
可燃	1,196	1,188	1,175
不燃・カン・ガラス	64	57	67
ペットボトル・発砲スチロール	18	21	28
空きビン	68	61	63
計	1,346	1,327	1,333

ごみの搬入量調べ(平成21年度～29年度まで)

1 燃えるごみ

単位(t)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
知名町	1,568	1,682	1,588	1,572	1,580	1,552	1,540	1,607	1,619
和泊町	1,789	1,712	1,771	1,860	1,825	1,768	1,807	1,802	1,825
計	3,357	3,394	3,358	3,432	3,406	3,320	3,347	3,409	3,444

2 燃えないごみ(空き缶等)

単位(t)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
知名町	114	117	101	117	103	97	87	91	82
和泊町	110	107	104	118	124	102	107	106	104
計	224	224	206	235	227	199	194	197	186

3 空き瓶

単位(t)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
知名町	85	91	89	81	73	72	68	68	61
和泊町	61	62	71	66	60	56	52	38	36
計	146	153	160	147	132	128	120	106	97

4 ペットボトル・発泡スチロール

単位(t)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
知名町	20	26	20	16	17	17	18	19	24
和泊町	25	18	22	14	13	17	15	22	21
計	45	44	41	30	30	35	33	41	45

5 粗大ごみ

単位(t)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
知名町	20	24	23	25	39	20	26	29	25
和泊町	30	25	34	47	55	38	32	38	33
計	50	49	57	72	93	58	59	67	58

6 段ボール

単位(t)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
知名町	39	19	14	5	3	4	4	5	7
和泊町	36	24	22	24	19	11	10	10	11
計	74	43	36	29	23	15	13	15	19

7 総計

単位(t)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
知名町	1,844	1,959	1,835	1,816	1,815	1,762	1,743	1,819	1,818
和泊町	2,051	1,948	2,023	2,128	2,096	1,993	2,023	2,015	2,031
計	3,895	3,907	3,858	3,945	3,911	3,756	3,766	3,834	3,848

※沖永良部衛生管理組合から提出のあった「ごみ搬入集計表」とまとめたもの。

※数値は全て、「収集車」と「一般持込みごみ(個人・事業所)」の合計

4 条例

- ・知名町空き缶等ポイ捨て防止条例 平成 23 年 12 月 16 日条例第 25 号
- ・知名町の環境美化の促進及び保持を図るため、町、町民等、事業者及び占有者等が一体となり、空き缶等のポイ捨て及び空き缶等の散乱を防止することを目的とする。

5 計画

- ・知名町（沖永良部与論地区広域事務組合）地球温暖化実行計画
- ・沖永良部衛生管理組合 一般廃棄物処理基本計画

知名町については 2030 年度（平成 42 年度）において、基準排出量 2,921.1t-CO₂からの 40%削減目標（年間排出量 1,752.7t-CO₂）を達成するためには、今後 14 年間で 1,168.4t-CO₂の削減が必要です。そのためには毎年 83.5t-CO₂（約 3%）の削減を続けていく必要があります。

この割合で行くと本計画の最終年度 2020 年度（平成 32 年度）末においては、417.3t-CO₂削減して、2,503.8t-CO₂を目指すこととなります。



6 世の中の動き

レジ袋有料化

マイボトル

事業施策提案書一覧

○印はヒアリング済み

【従来型】

- 1 ○介護職、保育職に特化した移住誘導事業
- 2 ○シルバー人材センター負担金×2件 1件分はヒアリング済み
- 3 ○まなびのポータル化
- 4 人材バンクの創設
- 5 住宅改修費、介護予防改修費
- 6 ○子ども医療費助成事業の認知向上
- 7 ○知名町百合球根振興協議会補助金
- 8 ○農業研修制度の導入
- 9 空き屋等対策事業
- 10 学びを支える学力向上推進費
- 11 移住支援
- 12 子育て支援
- 13 ○児童虐待防止対策事業
- 14 ○高齢者見守りサポート事業
- 15 ○時間外受付ポスト設置
- 16 高反収作物の導入
- 17 新規就農者支援事業「高齢者介護のため早期退職 就農者支援」
- 18 地域振興 沖永良部島観光宣伝 生産 農産物販売促進事業

【未来型】

- 1 沖永良部島のきれいな海を守ろう
- 2 ○ゴミ問題
- 3 ○生ごみ等の再資源化への取り組み
- 4 ○買い物サポート事業
- 5 ○みんなの学校
- 6 美しい環境を活かした施設（公園等）・アクティビティづくりの開発
- 7 仕事や住宅を充実させ、UターンやIターン者がふえ、若者が増え活気あるまちづくり
- 8 新規就農者支援事業「高齢者介護のため早期退職 就農者支援」

■与論庁舎跡地利用アンケート抜粋

経緯：旧役場庁舎跡地の活用については、平成29年7月に役場職員による意見交換会を実施、平成30年2月に与論町役場旧庁舎跡地利用検討委員会設置要綱の制定、第1回の検討委員会を開催し、その場で町民へのアンケートの実施についての提言がなされ、同年10月同委員会へアンケート案の提示、委員会内において修正後、11月15日にアンケートを実施しております。

配布及び回答率等

○ 一般町民（18歳以上）	○ 高校生向け	○ 中学生向け
配布枚数 4,158枚	配布枚数 135枚	配布枚数 135枚
回答枚数 1,186枚	回答枚数 123枚	回答枚数 118枚
回答率 28.5%	回答率 91.1%	回答率 88.1%

旧庁舎跡地の活用については、以下のような期待がされています。

	一般町民（18歳以上）	高校生	中学生
1位	観光情報発信施設	商業・娯楽施設	商業・娯楽施設
2位	公園や広場	公園や広場	文化・スポーツ施設
3位	商業・娯楽施設	文化・スポーツ施設	公園や広場

○ 一般町民アンケートではどの世代においても、「観光情報発信施設」、「公園や広場」が広く期待されているようです。

特に40歳未満では「公園や広場」の期待が多く、40歳以上では「観光情報発信施設」が最も多く期待される結果となりました。

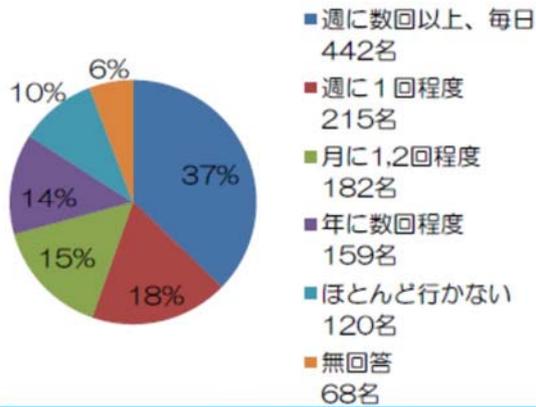
○ 活用の際には、町内外から多くの方が訪れ、賑わいを生み出すような場所（交流）として公共的な活用を望む声が多く、町財政への配慮が最も重要視されているようです。

○ 「商業・娯楽施設」は特に中学生・高校生及び18～39歳の比較的若い世代において、期待されているようです。

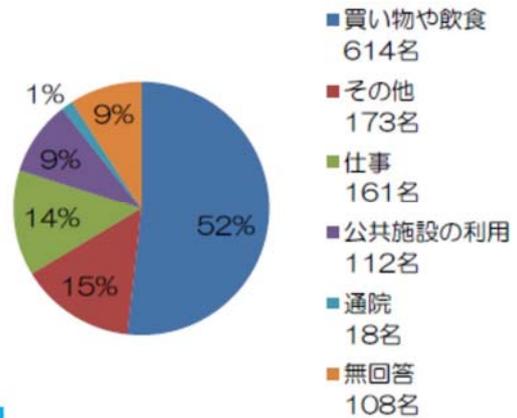
*次頁は、旧庁舎の周辺状況と、一般町民アンケートにおけるイメージ等について

問2. 役場旧庁舎周辺地区について

① どのくらいの頻度で訪れますか？



② 主にどのような理由で訪れますか？



③ どのようなイメージ、印象をお持ちですか？

